



## 細川 敬三 講演会

### プロフィール

**現職** 秋田栄養短期大学 栄養学科教授  
東京農業大学客員教授  
兵庫大学名誉教授

**履歴** 北海道大学農学部卒業  
北海道大学農学部修士課程修了  
大日本インキ化学工業株式会社(現DIC株式会社)  
株式会社学習研究社植物工学研究所(現株式会社Gakken)  
公益財団法人岩手生物工学研究センター  
国立医薬品食品衛生研究所  
兵庫大学

## 「一般食品と医薬品の中間に位置する保健機能食品ってなあに？」

**開講日時**▶ 9月14日(土) 午後1時00分～2時30分 (開場 午後12時30分)  
**会場**▶ ノースアジア大学40周年記念館 2階 271教場

### 講演内容

日本がバブル景気の頃(1986年12月～1991年2月)、日本国民総1億がグルメと化していた。また、一世を風靡した「24時間戦えますか」というCMで健康そっちのけで健康は蚊帳の外のような時代であった。その後、働きすぎのせいか健康志向が台頭し、今は健康食品や食育が注目され、食事に気を配り健康を維持・増進する機運が高まっている。また、アスリートは食事の重要性について語る場面が多くなってきた。

食品には3つの機能(栄養機能、感覚機能、生体調節機能)があるといわれている。これらの機能は普段の食事がベースとなっているのはいままでのない。しかし、現代は多忙な毎日のためか健康を食事だけに頼ることが難しいという現実もある。また、貧困のため「栄養機能」でさえ十分に満たせない人々も相当数いるのが現実である(世界はもっと大変)。

このような状況の中、食品の生体調節機能/成分を利用することで健康の維持・増進を図ろうとする商品が開発され、テレビ・チラシなどのコマーシャル・通販で見ない日がないくらいである。これらの商品は、以前は健康を損ねかねない健康食品が一部存在して問題となっていた(今も存在する)。これを契機として科学的根拠に基づいた健康食品の制度が作られた。この講演では、食品成分の生体調節機能に着目して開発された保健機能食品(特定保健用食品(トクホ)、栄養機能食品、機能性表示食品)の概要について紹介したいと思う。この3種類の保健機能食品の特性を理解した上で上手に利用して健康の維持と増進の一助になればと思う。